

農業委員会だより

第96号

令和5年(2023年)

年3回発行
12月号

発行・問合せ 練馬区農業委員会 〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1 ☎5984-1398

全国都市農業フェスティバル開催!!

ご来場の皆様、ご協力頂いた農業者、関係者の皆様、まことにありがとうございました。



■ 約 36,000 人がご来場

都市の中で行われる農業「都市農業」。多くの方に都市農業を知っていただき、楽しんでもらうことができました。練馬区で農業に携わる皆さん、全国の参加都市の皆さんのご尽力で大成功を収めることができました。



■ 都市農業に取り組む 24 都市が集結



国分寺市(東京都)



松戸市(千葉県)



名古屋市(愛知県)



京都市(京都府)

■ 「世界都市農業サミット」から「全国都市農業フェスティバル」へ

ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントから農業者・研究者等を招き、国際会議として令和元年に開催しました。サミットで確認した都市農業の魅力と可能性は「全国都市農業フェスティバル」へと続いています。



令和元年11月30日～12月1日開催

話す・学ぶ 農業者トークライブ

ゲスト：小島よしお (タレント)
きじまりゅうた (料理研究家)



全国から都市農業者が集まり、都市農業の魅力について語り合いました。練馬区からは、加藤優子さん、西貝光輝さん、洒井雅博さん、野坂亮太さんが出演し、ゲストのお二人を交えて「明日、畑に行きたくなる話」「都市農業推しトーク」など、都市農業の魅力を存分に語り合いました。

観覧者の声

- ・参加された農業者の皆さんがこれからの農業の未来について深く考え、真摯に取り組んでいるのがよく伝わってきました。
- ・プロの方も試行錯誤の中モチベーションを保ちながらがんばっていると聞いて、農業をより身近に感じることが出来ました。



買う

全国から沢山の農産物・特産物が大集合。
JA 東京あおば農業祭と共同開催

全国 24 都市の魅力ある商品が販売。各ブースは多くのお客様で大盛況。練馬大根を始め、午前中で売切れ続出となりました。

購入者の声

- ・とれたて野菜とても美味しい！農家さんこれからも頑張ってください！応援してます！
- ・練馬大根を午後でも買えるといいですね…。



食べる・体験する

各地の農産物を使った様々なメニューを提供するキッチンカー
農業体験ができる貴重なワークショップも



ワークショップで実際に土に触り、農業者のみなさんに話を聞ける貴重な体験。真剣な表情、楽しそうな様子で取り組む参加者の姿がありました。各地の野菜を使ったメニューが並ぶキッチンカーは「おいしいね」の笑顔がたくさん溢れていました。

来場者アンケート

- ・活気のあるとても楽しいフェスティバルでした。今回、沢山のことに共感を持ちました。有難うございます、農家さん。



ねりまランタンナイト 夜空を彩った 1,000 個のランタン

〈フェスティバル機運醸成企画〉

児童館で子どもたちが、農業者へのメッセージ・イラストをランタンに描き、夜空に灯し、浮かべました。約 4,500 人の来場者が幻想的な風景を楽しみました。(令和5年10月7日開催)



【当日の様子】



新規就農者をご紹介します！

東京都農林水産振興財団では、毎年新たに就農された方へ奨励賞を贈呈しています。令和5年度は、令和4年度に就農した1名の方が受賞されました。今回奨励賞を受賞された、次世代の練馬の農業を支える担い手をご紹介します。

杉浦 和人さん(43) (谷原)【経営部門】露地野菜・果樹

① 就農のきっかけ

15年以上会社員として勤務していましたが、妻の父より後を継いで欲しいと言われたこと、自分がいなくなっても存続する組織の一員ではなく、自分がいることで継続する農業に惹かれ、就農を決意しました。

② 農業経営のご様子

まだ「経営」というよりも「覚えている」段階です。これまでのデスクワークと違う、身体を動かすことの疲れがあり大変です。

③ 就農してのご感想

同じく農家である母に就農すると報告した時「簡単なことではない」と忠告されました。その通り、生き物を育てることの難しさ、また暦通りには進まない、気候に左右されることの大変さを改めて感じています。その反面、出来上がったものを自分の目で確認でき、良いものができた時の充実感が大きいです。直売所で野菜や果物をお客様に届けられるため「美味しかったよ」「また買いに来ました」と直接感想を聞けることが嬉しく、次への励みになります。

④ 今後の目標

大規模農業にはない都市農業の良さを活かし、近隣の皆さんに日々の生活のちょっとした楽しみや季節の良さを感じてもらいたいです。これからも食べたいと思ってもらえる、ファンを増やしていけるような農業を続けていきたいです。



奨励賞受賞 おめでとうございます！

野焼きは原則禁止です

※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および、東京都の「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」

野焼きは病害虫の防除や霜害対策など、農業を営む上でやむを得ず行う場合を除いて、法令※により、原則禁止されています。やむを得ず野焼きを行う際は、必要最小限の量にする、近隣の方に事前に周知する、焼却前に十分乾燥させる、洗濯物が干されていない時間帯を選ぶなど、周辺地域の方の生活環境に支障がないように配慮しなければなりません。毎年区民の方から野焼きの苦情が寄せられています。今後とも、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

【問合せ】農業委員会事務局または、環境課環境規制係 ☎5984-4712

農業者年金に加入しませんか

積み立て方式による確定拠出型の年金で、加入資格・要件に該当する方はいつでも加入・脱退できます。積み立てた保険料とその運用益により年金額が決まり、その時々への加入者数等に左右されにくい、長期安定型の制度となっています。詳しくは、農業委員会事務局またはお近くのJA東京あおばにお問い合わせください。

令和4年度農業関係決算額のご報告

令和4年度練馬区決算 農業費： 5億 5,930万円

●農業振興費	3億 5,061万円	農業振興経費（各種補助金・事業運営費等）
●農業委員会費	1億 7,466万円	農業委員会の運営経費（職員人件費・委員報酬等）
●農園費	3,403万円	区民農園の維持運営経費（巡回業務等委託料・施設補修工事費等）

お困りの際に

ねりま農サポーターのススメ。

累計活用例数

132 件

(令和5年9月現在)

農の学校事業とは

区内農業の支え手「ねりま農サポーター」を育成し、農業者とのマッチングを行っています。詳細はホームページをご覧ください。



ねりま農サポーターとは

「練馬区立農の学校」で農作業の支援に必要な基礎知識や作業手順等を習得し、区内農業者の支え手として区が認定した方。



練馬区の相談会で、高齢の両親と私の3人では体力的に大変だと話し、制度の紹介を受けました。申込みしてみたら、手続きは簡単で良かったです。ねりま農サポーターの方には、除草や、ポットに土を入れて苗を移植することなどをお願いしています。作業がとても丁寧でビックリします。

受け入れ農家 相田 光枝さん

ねりま農サポーター 内田さん 谷村さん 江藤さん
除草は1人では完了しなくて、引き継ぎしながらやることが多いです。3人で1つの区画がきれいになり、そこで新たな野菜が成長していくのを見ると、うれしく思います。とてもやりがいがあり、相田さんが必要としてくださる限りは続けていきたいと思っています。



活用までの流れ

農の学校事務局がサポートするので安心！

①



受入農家登録

②



引合せ
(条件等の確認)

③



援農体験

④



マッチング
【援農スタート!】

まずは
お問合せください!

【問合せ】
都市農業課農業振興係
☎5984-1403

編集後記

この度広報部会長となりました篠田です。

今年は練馬区主催の全国都市農業フェスティバルが11月19日(日)に実施されました。都市農業の大切さ(重要性)、魅力を発信する貴重な機会となりました。

農業委員会活動の一環として毎年行う農地パトロールを通じて、都市農業の基盤となる生産緑地の農地としての良好な保全、および適切な利用を促していくための活動を行っていききたいと思います。

【広報部会委員】

部会長	篠田	政巳
部会員	篠	貞夫
部会員	荘	晃一
部会員	橋本	良子
部会員	渡邊	仁